

◇ 第89回リカレントセミナー 研修会報告 ◇

日 時	2019年4月7日(日) 9:30~12:45
場 所	神戸薬科大学 3階K1132教室
テ ー マ	薬剤師のための漢方講座
受講資格	現役の薬剤師
受講者数	92名

【研修内容】

演 題1 「患者さんの心に寄り添う漢方薬に必要な服薬指導」

講 師: 阪神漢方研究所附属クリニック
福田 裕子 先生



阪神漢方研究所附属クリニック
福田 裕子 先生による講義



100名近い多くの方にご参加いただき、大盛況
の研修会となりました。



演題2「漢方医の考えること」

講師：峯クリニック
院長 峯 尚志 先生



講義終了後は、活発な質疑応答となりました。

峯クリニック
院長 峯 尚志 先生による講義

アンケート(今回の講義で得たことはどのようなことか)抜粋

- ・漢方薬や東洋医学についての全般的なとらえ方がよくわかった。
- ・漢方、東洋医学の考え方がわかりやすかった。
- ・漢方の服薬指導について。飲むタイミングや問診について。
- ・日頃の服薬指導に生かせる知識。
- ・漢方の名前からイメージが湧きやすくなりました。
- ・成分別にくわしく知識を得られたこと。
- ・病気をみるのではなく病人をみる姿勢で業務にとりくみたいと思いました。
- ・病気ではなく、病人を診ることが重要と改めて感じた。
- ・具体的な生薬の薬能が学べたので実践の指導で役立てそうです。
- ・「漢方を学ぶことで患者さんとの距離が近くなる」という事を体感した講義であった。
- ・「望診」という考えを心に刻み、病人さんという全体を知りたいと思いながら問いかけをしたいと思う。
- ・望診のエッセンスについて。
- ・病人の全体像をみて、診察をする手立てに漢方のことを知って、生活を見直すお手伝いができればと思いました。
- ・漠然としていた知識を整理することができました。新しい知識も得られました。